

令和2年10月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和2年10月20日(火) 午前9時
役場3階 大会議室
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 下田委員 松尾委員 堤委員
- 3 事務局職員 吉岡学校教育課長 中村生涯学習課長 宮崎主任指導主事
吉村学校教育課課長補佐 渡部生涯学習課課長補佐
土井生涯学習課課長補佐 梅木指導主事 川畑庶務係長
平田学校教育係長 原学校統合再編係長 永尾学校給食係長
森白石公民館係長
- 4 前回議事録の承認
9月定例教育委員会の会議録 【原案どおり承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に付した議案
付議第35号 立志式について
付議第36号 楽習館の現状課題及び将来方向性について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 付議第35号から付議第36号すべて議決
- 10 その他
 - ・事務局からの報告

1 開 会 8:57

吉岡課長

2 前回議事録の承認 8:57

9月定例教育委員会の会議録を資料により説明

委員全員承認

3 教育長の報告 8:58

(前回以降の主な動向)

資料により数点を内容紹介。

9/27 白石中学校体育大会

10/ 1 福富小学校修学旅行

10/ 8 第3回学校給食運営委員会

10/13 拉致問題を考える県民の集い

10/17 第73回県民スポーツ大会

(杵島藤津地区教育長会《10/9》より)

資料により概要の報告。

- ・令和2年度 佐賀県小・中学校学習状況調査に関する実施要項
日程、教科及び佐賀県小・中学校学習状況調査において特別な支援が必要な児童生徒に対する配慮事項等。
- ・第4回佐賀県コミュニティ・スクール研究大会
研究大会及び「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」中間報告会。
- ・「不登校対応コーディネーターがお困りごと、お悩みをお聞きます」
県不登校対応コーディネーター中島桂子氏について。
- ・令和3年度以降に中学校及び特別支援学校中学部で使用する教科用図書採択結果
- ・令和3年度以降に県立中学校で使用する教科用図書採択結果
- ・交通事故発生（加害等）状況調べ
小中学校合計7件。
- ・令和3年度佐賀県公立学校教職員採用選考試験の結果について
（PRESS RELEASE より）合格者の52%が既卒者、他県より13名。
- ・再任用制度の概要
本年度白石町は5名（教員4名、事務1名）佐賀県全体372名。
- ・管理職選考について（推薦状況）
校長・副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭

- ・新聞記事より

「いじめ・嫌がらせ」過去最多（9/8：佐賀新聞）

（その他）

- ・市町立学校への支援の強化

資料の内容説明。（GIGAスクール構想の本格実施を受けて。）

4 付議事項の協議 9：20～

付議第35号

立志式について

平田係長：資料に沿って説明。

今年度は、令和3年度から2年生を対象とするための移行期となるため、対象者は2年生、3年生。新型コロナウイルス感染症の影響により、3中学校合同の開催中止の要望が中学校から出された。これを受け今年度は3会場にて開催。運営詳細はこれから詰めていく。開催予定として、白石中学校及び有明中学校は12月24日、福富中学校は12月23日、対象者総数360名。

北村教育長：今年度は、コロナ禍の中で分散して開催ということで方向性のみを示したが御意見は。

稲佐委員：密にならないためにと3会場に分かれたと思う。今回2、3年生を対象とするということで計360名。次年度は2年生のみということか。

平田係長：来年度からは2年生のみ対象としていく。

稲佐委員：講師については、それぞれ3会場分かれるため3名招聘することとなるのか。

平田係長：今現在、講師については、それぞれ1名ずつ内諾をいただいている。白石中学校については、堤教育委員へ相談されており、福富中学校の方も検討いただいている。有明中学校は現在20代の卒業生に内諾をいただいている。

北村教育長：講師に堤教育委員のお名前もあがっているが、よろしくお願ひしたい。先日、下平校長会長とこの件について話を行った。3会場に分かれるため、中学生も十分に運営に関われる面もあるということで、町のスタッフでというより、中学校で出来るところは中学生にさせていいのではということも出ていたので、その辺りも検討していただければと思う。

委員全員承認（付議第35号）

付議第36号

楽習館の現状課題及び将来方向性について

森 係長：資料に沿って説明。

平成13年農業共済組合組織の統合により町へ施設の有償譲渡が行われた。平成14年、平成22年に内装、外壁等の改修工事を実施。平成29年に南面外壁タイルの亀裂、剥落が見つかり安全対策として応急的に北面、南面に仮囲いパネルの設置をしている。蔵書の大半が古く本好きの方は福富ゆうあい図書館を利用、電子図書の普及により利用者也減少（利用者推移資料）。今後、楽習館の図書室機能を令和3年度より福富ゆうあい図書館に統合、統合後の空きスペースを国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会準備室としての利活用の検討、2階会議室、研修室は当面現行の機能を維持をと考えている。国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会後は、今後策定される公共施設等個別施設計画並びに公共施設等再編計画の中で検討することとしている。

下田委員：昭和58年に建てられており新基準となっており耐震構造にはなっているのか。

土井課長補佐：耐震構造はクリアしている。

下田委員：外壁の補修は必要であったと聞いているが、建物自体は大丈夫か。

土井課長補佐：躯体自体は今のところ大丈夫です。元々外壁タイルがいわゆるべた付けの施工で、途中西面は改修工事がなされている。平成22年にも防水等改修工事を行っているが、南面と北面はタイル補修を全くしてなく一昨年南面について、クラック、一部剥落があった。タイルの浮きも目立ってきている。玄関の改修工事の話もしていたが、町の公共施設の総合管理計画の中の色々な集会施設、学校施設も含め、個別計画、再編計画を行う、その中で楽習館の取扱も検討していきたいということで、改修工事は今のところ見送りしている。図書館についても講座開設、行政放送によるPRを行っているが利用者が減少している。町の財政も厳しいため、今回福富ゆうあい図書館との統合とする。統合後は、総合センターロビーにブックボックスということで数冊を定期的に入れ替えていくような検討はしている。

稲佐委員：説明にあったように昨今は、本町のみでなく全国的というか本離れは進んできていると思う。また、電子図書等の普及もあり減少していると思う。ケーブルワン等々でも楽習館の新刊等の案内を見てはいるが、やはり利用者が1日10人切るといのがどんどん期待で

きないのではという感じもする。国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会も2024年にあるため、それに切り替えていく等施設をうまく再利用する転換期でもあると思う。

堤 委員：これについては、今後個別に策定するというのと別で前倒しするということか。

土井課長補佐：そういうことになります。

堤 委員：今回の提案でいいと思うが、古くなってなし崩し的にいっていき全体像の中で、社会教育施設をどうしていくのか計画されないままなし崩しにされるのはどうかと思う。今回の件が悪いという意味ではなく、古くなったから取り壊していくというと全体像が見えなくなることを注意しておかないといけない。もう一つは、ゆうあい館に立派な図書館がありそこに統合して機能を充実させた方がむしろいいと思う。ただ、元々合併前に福富町の方で造られて、それをずっと引きずっているところがあるため、旧福富町で造られた図書館をもっと白石町全体の図書館として昇華させるような内容というか、今でも展示物等見ていると旧福富町のそういったものがかかなりある。それはそれでいいが、町全体の図書館として統合して昇華させていくのであれば、その辺も検討しないといけないと思う。

土井課長補佐：楽習館の方に展示してある旧白石町の貴重な本等については、全てゆうあい図書館の方に引き継いでいただき、一般の本については、ブックリサイクルという形をとって、町民の皆さんに気に入った本があれば無償で提供し、残については古紙としてリサイクルする計画である。

下田委員：町内とても交通の便が悪く、障がい者の方の話だが、施設に入所している障がい者が図書館に行けない。県立図書館は郵送で本を貸してくれる。そういった行けないような方のことも検討していただきたい。

北村教育長：この件で、先週の町の図書館運営協議会で提案してもらったが、委員の声の中に確かに利用者が10人程度と下がっているが、楽しみにしておられる方もいらっしゃる。車でもゆうあい館まで遠いという方もいらっしゃるため、何とか代替案を工夫していただきたいという声が委員から出された。

委員全員承認（付議第36号）

5 その他 9:41～

(1) 問題行動・不登校月別報告について

梅木指導主事：資料により詳細説明。

不登校中学校新規2名。いじめの報告新規小学校5件、中学校1件。

稲佐委員：現在、コンフォートスペース「あい」の利用者は何名か。

梅木指導主事：正式通室生は6名。最近は、体験も増えてきている。

稲佐委員：教育長の報告にもあったようにコーディネーターの中島氏のような方々に見ていただき、せっかくならもっと「あい」を利用する子ども達が増えてくれたらと思う。自宅にいるよりどんどんそういったところに行って、そのステップを踏んで学校に行けるようになってくれたらいいなと思う。

梅木指導主事：木原室長が学校の教育相談部会等に顔を出していただき、状況を聞いたり、「あい」の紹介をしていただいている。学校の先生も家に閉じこもっている状況から何とか打破したいということで、不登校となりがちな子どもへの知見を広めてもらうような働きかけをしていただいている。

稲佐委員：私もスクールソーシャルワーカーを数年経験しましたが、例えば学校現場の教育相談担当者等と話し合いを密にして、その場の設定をしないとなかなか動かない。結局先延ばしにするようなことになるため、即実践ということを手掛けていただいた方が、より効果的に働くと思いました。

松尾委員：不登校報告の病欠となっている1名の生徒だが結局のところは。

梅木指導主事：基本的には欠席理由が、風邪、頭痛等で上がっているため学校としては病欠対応としている。気になるため学校としては不登校としてあげてもらっている。

下田委員：私のところの施設に来ている子ども達と話していても子ども達はとても正直です。その正直が、残酷だとも思うことも多々あります。特に障がいを持っている子が何かした時に後になってからは、その整理が出来ない。その時その場でないと注意しても理解が出来ないという特性を持っているため、やはり先生方の見る目、感じていただく目というのは大切だと思っているため今後ともお願いしたい。

北村教育長：コンフォートの件が出ましたのでその件です。木原室長を中心に3名で頑張っているが、第1目標がとにかく家に引きこもっている子たちをいかに家から出すか。そのために、いかにバラエティに富んだ活動を仕組むかということで、料理、栽培、身体活動等とにかく引きこもっている子を家から出すということで色々仕組んでいただいている。

(全委員承諾)

(2) 11月行事予定表

川畑係長：資料により説明、次回教育委員会の日程調整。

梅木指導主事：小中学校の研究発表会等について補足説明。

(全委員承諾)

(3) その他

・社会教育活動中における事故の発生について

平田係長：資料により説明。

学校教育、社会教育間でこういう事故とかが発生した時に情報共有を行うため学校教育課と生涯学習課との確認を行った。今後は、安全対策を十分とっていきたいと思う。

吉岡課長：この件は、学校管理下での事故ではないということだが、施設上の問題も大きいということで検討を行っている。

北村教育長：当初は社会体育の方での不注意のものというとらえ方を行っていたが、施設上の安全面の不備等の状況について学校施設、社会教育施設の総点検を行い、こういう事故がないように話をしている。

堤 委員：事故後は、学校の先生方が非常によく連携を取っていただいた。以前、リスクマネジメントの話を聞いたときに、想定外のことが起きた時によくよく突き止めていくと、本来やるべきことがやられてなかったケースがほとんどだということであった。そういう視点から総点検をしていただければと思う。

稲佐委員：私も教職の時に生徒が悪ふざけして怪我をしたことがあった。想定外というか子ども達が遊ぶ中で我々が考え得ない怪我の仕方をすることがある。我々も想定外のことも予想しておかないと思った。

(全委員承諾)

・白石町教育の明日を考える集会について

中村課長：12月の第1日曜日が、白石町の教育の日ということで実施予定である。今回は、コロナ禍を見据えたところで時間短縮等で行いたいと思う。昨年12月にスポーツ健康増進町宣言を行っていたため、それに沿った形で集会が出来ればということで現在話し合いをしている。内容は、教育功労者表彰後に2部構成の講演を考えている。現在、2名の講師の方と調整している。

堤 委員：2名の方いずれかということか。

中村課長：2名ということですよ。よろしくお願いします。

(全委員承諾)

6 閉 会 10:12

吉岡課長